

論点整理

論点1、2

論点1：対象の考え方

- 時間・リソースも限られている中で最大限の効果を早期に発揮させるべく、本検討会においては、これまでの検討会での意見交換やヒアリングを踏まえ、効果等の観点から、**優先的に議論すべき事項を「重点テーマ」と位置づけ、当該テーマ毎に一定の方向性を示すべく議論を進めることとしてはどうか**

論点2：重点テーマの選定

- 検討会での意見交換やヒアリング等を踏まえ、以下の「3つの柱」「8つの項目」を重点テーマとしてはどうか

1. 整備士人材の有効活用

① 運航整備士の業務範囲の拡大

一運航整備士の業務範囲が実際の運航整備（運航間の日常の整備。ライン整備）を十分にカバーできておらず、運航整備士資格の取得や活用が十分に進んでいないため、業務範囲を拡大できないか

② 型式共通で整備可能な制度への見直し

一装備品の仕様や整備方法の共通化等を踏まえ、整備士の一層の有効配置を可能とするよう、型式共通で整備可能となる制度見直しができないか

2. 整備士養成・業務の効率化

③ 時間ベースの教育から能力ベースへ

一指定養成施設に求めている一律の教育時間を、教育カリキュラム、評価方法等を確認するやり方（能力ベース）に見直し、指定養成施設で全ての試験を完結させ、効果的で効率的な教育を実現できないか

④ 現代の整備作業を踏襲した試験項目に刷新

一実地試験の試験項目が、昔の整備作業を前提に作られており、最近の整備現場で使われる技術が踏襲されていないのではないか

⑤ デジタル技術を活用した整備の推進

一航空機の検査や整備後の確認について、デジタル技術の活用等によりリモート化を進められないか

3. 裾野拡大

⑥ 効果的な普及啓蒙

一メディアの積極活用、対象地域の拡大、広報媒体の共有化、小学生/女性/他業種社会人等を対象にした広報など、より充実した活動が必要ではないか。

⑦ 自衛隊整備士の活用

一自衛隊で航空機の整備に従事していた者が、例えば定年を迎えた後にも、民間航空機の整備業務に円滑に従事できる環境が必要ではないか

⑧ 外国人整備士等の受け入れ

一特定技能受け入れの推進など、更なる外国人整備士の受け入れ促進に向けた取組が必要ではないか